



NPO法人
堺観光ボランティア協会ニュース
4月号(通算 299号)
2022年(令和4年)3月26日発行

発行：NPO 法人堺観光ボランティア協会
理事長 山田 豊秋
〒590-0078 堺市堺区南瓦町 2-1
堺市民活動サポートセンター内(堺市総合福祉会館 2F)
TEL&FAX：072-233-0531
e-mail：sakaikvk@axel.ocn.ne.jp
URL：<http://sakai-kanbora.org/>



～古代から引き継がれてきた金属加工・匠の技～

堺の2つのミュージアム リニューアルオープン



シマノ自転車博物館

1992年、大阪府堺市(大仙公園内)で日本唯一の登録自転車専門博物館が開館しました。そして、2022年3月25日、堺東駅前にシマノ自転車博物館としてリニューアルオープンしました。館内はシンプルで落ち着いたあるモダニズム建築です。1階の無料ゾーンでは、クラシック自転車を見ながらゆったりと過ごすことができます。有料ゾーンのゲートを入ると、最初に目に飛び込んでくる文字は、『自転車とは 限りなく自由な乗り物』というメッセージです。古代から人々の移動手段は徒歩でした。車輪は紀元前3500年からありましたが、馬車や人力車のように、車輪が横に並んでいて馬や人力に頼らなければ動かすことが出来ませんでした。1817年ドイツで2つの車輪を前後に並べてその間にまたがり、地面を蹴って走る世界最古の自転車が発明されました。馬や人に頼ることなく、自分で自由に走れる自転車のはじまりです。そのような自転車の歴史を映像で見ることができます。是非一度、訪れてみられてはいかがでしょうか。

(詳しくは p.2 参照ください)



伝統産業会館

伝統産業会館が生まれ変わって3月26日にリニューアルオープンしました。

2階には堺刃物ミュージアム(通称「CUT」)があります。刃物の素材で作られたシャンデリア「HIBANA(火刃七)」が光輝いています。その横には、堺の刃物づくりで使用する機械「ベルトハンマー」の実物を展示。鋼の合わせ面をベルトハンマーと手槌で叩き、打ち延ばすことで堺刃物の特徴である切れ味が生まれます。壁面には、「日本の代表的な刃物産地」「金属加工で繋がる堺の歴史」「打ち刃物」「分業制」「プロの料理人から圧倒的な人気と支持」の5つのポイントで、堺の刃物の魅力を伝えています。L字展示ケースには、刃物の歴史、包丁・鋏のつくり方やそれらをつくる道具、包丁の技法の種類、などが展示されています。

隣の TAKUMI EXHIBITION [伝統産業展示] には、注染・線香・昆布・和菓子・敷物・鯉のぼりの展示がされています。

(詳しくは p.3 を参照ください)

シマノ自転車博物館 SHIMANO BICYCLE MUSEUM

【和田 千香】

博物館参与 広報担当神保正彦様にお話を伺いました。

リニューアルした博物館で自転車の「歴史」「文化」「技術」をご覧ください。自転車の真価を発見し、誰でもが自転車に乗りたくなるような展示にしました。堺の金属加工産業のルーツは大昔の古墳づくりにあります。中世には、鉄砲、包丁へと引き継がれました。鉄砲の分業制が自転車作りにも向いていたのです。堺は、自転車産業の要でもありました。シマノ自転車博物館は、これからの「自転車の町堺」のシンボリックな存在になろうとしています。みなさんも自転車に乗って堺燈台や、町家歴史館、堺の寺町、ザビエル公園など、環濠の中だけでなく、百舌鳥古墳群や大仙公園など自然の中、風を切って走ってみませんか。



神保正彦参与



1F エントランスホール

広く、心地よい空間が来館者を迎えます。無料ゾーンでは、ミュージアムスクエア「堺と自転車」のコーナーで「世界に開かれた堺」の映像を見ることが出来ます。有料ゾーンでは、自転車 200 年の歴史概要を映像で紹介しています。



2F ホワイトキューブ

自転車の誕生のドラマを映像と実車で紹介する「発明家たちの夢」を上映しています。映像や体験展示を通して、自転車の科学を探求することができます。サステイナブルな社会に向けて豊かな暮らしに貢献する自転車を展示しています。

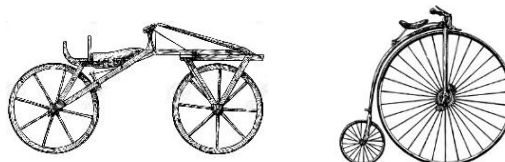


4F マルチメディアライブラリー

博物館の所蔵する情報、自転車に関する書籍や情報を来館者に公開しています。貴重な自転車関連資料を定期的に入れ替え展示し、自転車にまつわるアート作品・館所蔵の部品アーカイブを展示しています。

Information

- ・開館時間、休館日は、シマノ自転車博物館のHPからご確認ください。尚、入館はコロナ対応の為、予約優先です。HPからご予約ください。
- ・中学生以下と65歳以上の方は、堺市在住以外でも、無料です
- ・年間を通して特別展が開催されます。令和4年のテーマは「自転車の旅・様々なかたち」展です。是非、ご来館ください。



伝統産業会館

【川上 由】

館長の友田日出夫さんにお話を聞かせていただきました。

毎日のように、お客様から問い合わせの電話があります。先日は、小学生から電話があり、古墳時代から続く堺の金属加工の技術について話しました。

今回のリニューアルで1階を全て販売フロアに、そして2階は伝統産業の展示フロアにして、1階ではゆっくりと買い物を、2階は堺の伝統産業について見やすく分かりやすくしました。2階には堺刃物ミュージアム(通称 CUT)があります。来ていただいたお客様に堺の包丁の良さを知ってもらい、長く使っていたいただきたいと思っています。

新しい堺伝統産業会館は、堺の情報発信の場、堺の思い出の場、来堺したお客様に必ず満足していただける堺観光のお楽しみスポットとして、大いに活躍してくれることになるかと確信しました。

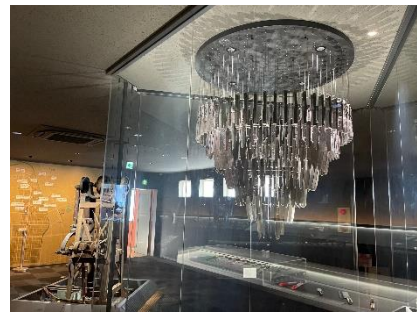


友田日出夫館長



1階包丁売り場

包丁がズラリと並んだ様は、まさに圧巻です。包丁の町堺にふさわしい包丁売り場が正面入り口に入ってすぐ左側に構えています。家庭で使う包丁からプロの職人さんが使う包丁を全てここに集めて販売しています。



2階 CUT のシャンデリア HIBANA(火刃七)

打刃物の特徴のひとつである、鉄を打った際に出る火花に着目してHIBANAと名付けました。「火」を放つところから始まる「刃」物づくりの数ある工程から「七」つを選び、刃金つけなどその工程ごとの素材を用いて製作しています。



2階 TAKUMI EXHIBITION [伝統産業展示]

注染、線香、昆布、敷物、五月鯉のぼり、和菓子の堺の伝統産業の展示がされています。正面の大型ビジョンでは、それらを詳しく紹介しています。

Information

- ・開館時間 10:00~17:00
- ・休館日 第3火曜日(祝日の場合、その翌日) 年末年始
- ・イベント
 - 毎月第1, 4日曜 和菓子作り実演
 - 第2, 4土曜 お香作り体験
 - 隔月第3土曜 雪花絞り染め体験
- ・毎週土日は包丁の研ぎ直しの実演



総務部 ニュース

★ 会員の状況

<3月31日現在>

正会員数 237名・賛助会員数 5名・総会員数 242名

今期入会 28名・退会 26名

退会者：9期 佐伯美那子様、16期 中西昭弘様

18期 岩本ひろ様、21期 島田俊春様、30期 米野純子様

★ オフィスクローズ

4月29日(金)は「昭和の日」で堺市総合福祉会館は休館となります。

オフィス業務は午前中 転送電話受付になります。

★ 入会期別会員分布

(2022年3月26日現在)

正会員 237人、賛助会員 5人

期	入会年	人数	期	入会年	人数	期	入会年	人数
1期	1995年	1	13期	2007年	7	22期	2015年	11
3期	1995年	1	14期	2008年	10	23期	2015年	10
4期	1996年	1	15期	2008年	11	24期	2016年	12
5期	1997年	2	16期	2009年	18	25期	2017年	3
6期	1998年	3	17期	2010年	15	26期	2017年	6
9期	2002年	1	18期	2011年	11	27期	2017年	5
10期	2002年	2	19期	2012年	20	28期	2018年	11
11期	2004年	6	20期	2013年	8	29期	2019年	12
12期	2006年	4	21期	2014年	22	30期	2021年	24

事業部 ニュース

★ 2021年度の決算棚卸

決算棚卸を山之ロプラザにて実施いたします。

4月1日(金)：13:00～イベント工房と呈茶チームの2021年度の決算棚卸

を山之ロプラザにて実施いたします。

{本項次ページへつづく}

★ 4月号 インデックス (目次)

		ディープな堺勉強会Ⅱ③「竹内街道への思い」	10
巻頭言：堺の2つのミュージアム リニューアルオープン	P1	『幻の陶器の里』紹介①陶工の首長の墓湯山古墳	11
リニューアルオープン シマノ自転車博物館	2	ガイドの豆知識 23 利休の死	12
リニューアルオープン 伝統産業会館	3	知って得する堺の偉人その9 関取龍興山一人	13
総務部ニュース・事業部ニュース	4	My堺観光スポット(4)「日置荘」地域と「萩原天神」	13
事務局ニュース	5	第5回「堺事件－国際理解講座」に参加して	14
定点ガイド部ニュース	6	堺WI グランプリ開催!	14
ツアーガイド部ニュース	6	「撮るさかい,見てある記」JA CROP こぼれ話(23)	15
研修部ニュース	7	春爛漫!大仙公園の桜	15
企画部ニュース・広報部ニュース	8	4月度月間予定表	16
インフォメーション・ガイド便利 MEMO	9	広報部からのお願い・編集後記	17

★ 利休生誕 500 年 PJ

中世の堺を思わせる日本庭園で、学習会付きツアーを開催。4月から約半年間で合計10回実施します。

4月は、23日(土)「利休屋敷跡今昔物語」・28日(木)「利休こぼれ話」です。また、事業部の「茶々の会」がお抹茶と和菓子でおもてなしをします。協会HP、協会公式LINE、広報さかい4月号にも掲載されます。各回定員20名、イヤホンマイクでガイドが案内します。

★ 2021 年度第 15 回理事会報告

事務局 ニュース

開催日時：2022年3月7日(月)

開催場所：電磁的方法で開催

【承認事項】

1. 協会活動の活動停止について

大阪府のまん延防止等重点措置がさらに延長になりました。堺市でも多くの方が新型コロナウイルスに感染され、医療提供体制もひっ迫しています。そこで、感染拡大防止の観点から協会活動を停止とします。

*停止期間：3月7日(月)～3月21日(月)まで

*対象活動：定点ガイド・ツアーガイド

全会一致で承認されました。

*その後3月21日をもってまん延防止等重点措置は解除が決定

★ 2021 年度第 16 回理事会報告

開催日時：2022年3月14日(月)

開催場所：東洋ビル

【審議事項】

1. 2022 年度堺観光コンベンション協会とのサポート契約について再提案

サポート契約について以下の通り再提案いたします。

堺市観光部及び堺観光コンベンション協会からサポート契約の再度見直しの要請に基づくものです。

●妙國寺がサポート契約することとなりました。

●妙國寺との覚書も見直しを提案しました。

サポート契約により妙國寺の配置が決まりましたが、サポート契約はガイドのみとなり、その他の業務(受付金銭授受等)の見直しを提案。

全会一致で承認されました。

【報告事項】

2. その他の契約について

産業振興センター(伝統産業会館) ポスト数は従来通りで4月1日から開始

シマノ自転車博物館 ポスト数は従来通りで4月1日から開始

さかい利晶の杜 ポスト数は従来通り

尚契約書は順次4月までに締結予定

定点ガイド部 ニュース

★ 連絡

1. この3月末に堺伝統産業会館はリニューアルオープンしましたが、「リニューアル後のガイドマニュアル補足版」と「配置再開における活動マニュアル」を今月の協会ニュースに同封致します。
4月からの活動再開にあたりご活用をお願いします。
2. 昨年12月より閉館していましたが「自転車博物館サイクルセンター」は、「シマノ自転車博物館」として新築移転し（堺区南向陽町2-2-1）3月25日にオープンしました。
シマノ自転車博物館主催の勉強会も3月3日、8日、10日で実施され、多数の方の参加があり4月3日より配置活動が開始されます。
尚、「ガイド・活動マニュアル」は現在準備中です。

★ 3月度の全体会議はPCメール形式で行いました

1月は「まん延防止等重点措置」の延長等で活動休止のため、各定点の「活動日誌」抜粋の記事記載はありません。

ツアーガイド部 ニュース

★ 2月度 ツアーガイド

2月度は、ガイド活動はありませんでした。

☆ 4月の主催ツアー

～ボランティアガイドと一緒に歩こう～情熱の歌人 与謝野晶子ゆかりのコース！

4月24日(日) 10時に堺東観光案内所前集合

泉陽高校(外観)～山之口商店街～開口神社～さかい利晶の杜
さかい利晶の杜では、呈茶も含まれます。

*黒姫山古墳からツツジの名所、法雲寺へ

4月29日(金・祝)、30日(土)それぞれ10時に黒姫山古墳バス停に集合
黒姫山古墳の案内し、法雲寺まで歩き境内を案内します。

*中世の「堺」を思わせる日本庭園で お抹茶と和菓子&利休こぼれ話

4月23日(土) 28日(木)それぞれ13時に堺市博物館前集合

大仙公園と日本庭園の案内、日本庭園の和室で呈茶と講座を聞いて頂きます。

☆ ツアーガイド部主催勉強会

*28期・29期生対象の日本庭園勉強会は、4月に延期になりました。

4月12日(火)と15日(金)にそれぞれ、10名ほどで行います。

*30期生対象の「まち歩き勉強会」は、5月から8月まで、毎月、4回にわたり行います。詳細は、30期生にお知らせします。

{本項次ページへつづく}

☆ 4月の自転車ツアー

西高野街道を多治速比売神社まで走ります

4月10日(日) 9時30分に百舌鳥古墳群ビジターセンター前に集合・12時頃解散

*コロナ感染症の状況で中止になることがあります。

☆ 30期生入会后研修

研修部 ニュース

3月9日、11日、14日に展望ロビーからの東コースめぐり(方違神社、反正天皇陵古墳方面)、堺駅からの西コースめぐり(堺旧港、大浜公園)を行いました。2月に予定していた仁徳天皇陵古墳・大仙公園内古墳の一周コース研修は4月5日・8日・11日に延期します。

3月22日にはフォローアップ研修を行いました。入会后6ヶ月間の振り返りと今後の課題を話し合い、ツアーガイドの魅力紹介、メンター制の希望確認等を行いました。

☆ 全体研修会「千利休と戦国武将」

新型コロナウイルス感染症対策のため、開催を延期していました全体研修会「千利休と戦国武将」を3月30日(水)の10時～と14時～の2回、福祉会館大研修室にて行います。各回定員40名ですので抽選を行い、当選者落選者に関わらず、すべての申込者にメールや電話等で連絡しました。

万一、当選しても参加できなくなった場合は必ず研修部までご連絡ください。

なお、新型コロナウイルス感染拡大等の状況如何で中止の場合もありますのでご了承ください。

☆ マナー研修について

19期～21期生対象の人権を含むマナー研修は、5月18日(水)に行います。

22期～27期生対象の研修は6月7日(火)、28期～30期生は7月28日(木)に行います。ご予約下さい。

＼ ひといき休憩 はしやすめ 井

《クイズに挑戦! (大阪検定ヨリ)》

百舌鳥・古市古墳群には、戦後の開発によって消滅してしまった古墳も数多くあります。1950年代に住宅開発により破壊の危機に見舞われるも、研究者や市民の運動で保護され、現在では文化財保護運動の象徴となっている古墳があります。

堺市北区にあるこの古墳はどれでしょう?

- ①ニサンザイ古墳 ②大山古墳(仁徳天皇陵古墳)
③いたすけ古墳 ④誉田山古墳(応神天皇陵古墳)



企画部 ニュース

☆ 大阪奈良歴史街道リレーウォーク

第6幕第4回実行委員会が3月14日天理市で開催され、第6幕のリーフレット内容・イベント内容の最終確認を行いました。リーフレットは3月中に印刷が完了する予定で、4月初旬には配布が可能になります。イベントを実施して頂ける団体は14団体になり盛大な第6幕になりそうです。堺は9月17日(土)にイベントを実施予定です。

☆ 「陶器の里モニターガイド」開催

昨年12月に開催した「陶器の里」勉強会に参加された方々を主に、「幻の陶器の里を尋ねる」のテーマでモニターガイドを3月に実施する予定でしたが、コロナ禍の為、再度延期になりました。4月5日(火)と4月19日(火)の2回に分けて開催します。

広報部 ニュース

★ JA「CROP」関係2022年3月度活動報告

取材：3/6(日) 北区 常盤町
編集会議：3/13(日)10:00~堺東

★ 接客アンケートの延期の連絡

活動再会後に定点で実施する予定でしたが、接客アンケートは延期になりました。再開は追って連絡いたします。

☆ LINE 公式アカウント

2月号でお知らせいたしましたように、当協会のLINE公式アカウントが完成しました。すでに先日同送した桜MAPや、ツアーガイドのパンフレットにも表示しています。

各定点にラミネートした案内を資料と一緒に置いておきますので、ご活用して頂き「LINE友達」への紹介をお願いいたします。4月初旬までに設置いたします。



NPO 法人 堺観光ボランティア協会

LINE LINE

はじめました!

お友だち募集中

登録は
こちらから

最新情報・イベント情報
おすすめのガイドコースをお届けいたします!

《インフォメーション》

☆ 語学同好会のご案内

新型コロナウイルス感染防止対策として「まん延防止等重点措置」の解除にともない
4月の語学サークル活動は下記の開催になります。

会の名称	開催日	開催時間	開催場所
・英会話サークル	4月 13日 (水)	14:00	堺市多文化交流プラザ・さかい (堺市総合福祉会館5階大会議室)
・韓国語同好会	4月 7日 (木)	13:30	堺市多文化交流プラザ・さかい (堺市総合福祉会館5階大会議室)
・中国語同好会	4月の会合は中止します。		

《ガイド便利MEMO》

☆ 各施設の2022年4月の休館日・休園日は以下の通りです。

新型コロナウイルス感染拡大状況が厳しくなれば、休館・休園等となる可能性があります。
状況にご留意ください。

・山口家住宅・清学院	休館：毎週火曜日 但し祝日の場合翌日休館	5日・12日・19日・26日休館
・堺アルフォンス・ミュシャ館	休館：毎週月曜日 及び祝日の翌日	4日～8日・11日・18日・25日 休館
・日本庭園	休園：毎週月曜日 但し祝日の場合翌日休園	4日・11日・18日・25日 休館
・市役所21階展望ロビー	無休 (3月25日より再開しました)	
・堺市博物館	休館：毎週月曜日 但し祝日月曜日を除く	4日・11日・18日・25日 休館
・堺市茶室 伸庵	休館：毎週月曜日 但し祝日月曜日を除く	4日・11日・18日・25日 休館
・みはら歴史博物館	休館：毎週月曜日 但し祝日の場合翌日休館	4日・11日・18日・25日 休館
・シマノ自転車博物館	休館：毎週月曜日 及び祝日の翌日	4日・11日・18日・25日 休館
・フェニーチェ堺	休館：第1・3月曜日 但し祝日月曜日を除く	4日・18日休館
・堺伝統産業会館	休館：第3火曜日 但し祝日の場合翌日休館	19日休館
・さかい利晶の杜	休館：第3火曜日	19日 休館(観光案内展示室のみ開館)

《ディープな堺勉強会Ⅱ》

【木村 義穂】

③竹内街道への思い

ツアーガイド部より「2時間くらいで竹内街道を」とのテーマを頂きました。2時間では竹内街道のほんの一部しか歩く事が出来ず、また竹内街道を十分に味わっていただく事が出来ません。どうせならと道中竹内街道と直接関係の無いことも勉強しようと欲張ったタイトルになりました。内容は協会ニュース1月号にて米良会員から報告いただいた通りです。参加者の多くからの反応は「仁徳陵への水源、芦が池を見て良かった」とは皮肉なことです。それだけ堺市内の竹内街道は周知なのでしょうが、竹内街道は少なくとも長尾神社まで完歩する事により更にその良さが分かります。ここでは私の竹内街道に対する思いを述べさせていただきます。

私が竹内街道に関わりだしたのは同期会で歴史街道推進協議会発行の街道ウォーキングマップ「竹内街道」を基に南海堺駅から長尾神社まで2回に分けて完歩したことがきっかけです。その後「金田風土記」他各種文献・パンフレットやネットで情報を収集し自分なりのガイドマニュアルを作成し、現在もニーズに合わせて補足しているところです。

日本書紀に、推古天皇21年(613年)の11月、「難波より京に至る大道を置く」という記述がありますが、堺市は平成25年(2013年)11月10日に大道(竹内街道)が敷設されて1400年を記念して、かつて街道を行き交う旅人の目印であった一里塚にちなみ、「緑の一里塚」(看板)を整備しました。

この頃はちょっとした竹内街道ブームでこの年の9月21日には朝日放送・道上洋三の歴史街道スペシャル「竹内街道～1400年の時をこえて～」が放映され、同局アナウンサー八塚彩美さんをご案内する役で出演させていただきました。一生の思い出になりました。他にも各種イベントが開催されました。

竹内街道は時代と共に種々の目的で使用されてきました。古代(飛鳥・白鳳)には遣隋使や遣唐使、都の要人、外国からの使者等々が往来して賑わいました。二上山周辺で採取されたサヌカイトが運ばれ石器の材料として使われました。奈良時代は都が奈良に移り利用頻度が少し落ちましたが、南北朝時代になると堺から吉野へ物資の輸送が頻繁になり、賑わいを取り戻します。室町時代に入り応仁の乱が始まり第12回遣明船が堺へ帰着すると、以降貿易による海外からの輸入品を中心に奈良と堺の往来が盛んになります。村田珠光から始まる茶の湯文化は千利休のころには一層堺と奈良の交流は深まります。「海の堺、陸の今井」と言われ共に自治都市として栄え深い関係にありました。江戸時代中期に入り信仰は全国の庶民の間へと広がります。西から東へお伊勢参りに行く人が有れば、逆に東から西へ金比羅参りに出かけるのです。羽曳野市の東除川には伊勢橋が架かり、飛鳥川に架かる月読橋の角には伊勢神宮や金比羅大権現の石灯籠が残されています。このように竹内街道は政治・経済・外交に加えて信仰・文化の道でもありました。



竹内街道は平成29年4月5日「1400年に渡る悠久の歴史を伝える日本最古の国道『竹内街道・横大路(大道)』」として日本遺産に登録されました。古への様子を想像しながら皆様にも是非竹内街道を完歩して頂くことをお勧め致します。

『幻の陶器の里』ご紹介 ①陶工の首長の墓 湯山古墳

【小川 正夫】

『幻の陶器の里』の観光資源としての魅力を、勉強会に参加されなかった会員の皆様にも知っていただきたく、ご紹介の連載を始めたいと思います。初めにご紹介するのは、消滅してしまった幻の陶工首長の前方後円墳です。

渡来系の新技術をもった陶工氏族が、大和政権の保護を受ける特別な氏族であったことは、大和政権から認められた豪族にだけ許された前方後円墳が、陶工の首長たちの墓に多くみられることから明らかでしょう。その陶工氏族のなかでも、最高位の首長の墓と思われる前方後円墳が「湯山古墳」です。陶工氏族の数多い「群集墳」という墓域ではなく、「陶邑」全体を見下ろす湯山と呼ばれた山の頂上に造られ、考古学者の森浩一先生によれば「全長 30m 以上の横穴式前方後円墳で、羨道長 3m、天井石に覆われた 4m の玄室の中に家形石棺が安置されていた」と記録されています。陶邑の陶工達が仰ぎ見る山頂に祀られ、他に類を見ない豪華な石室・石棺を備えていることから、その被葬者が特別な存在であったと思われる。



残念ながら昭和 30 年代の土砂採取のため古墳破壊が進んだ時期に、この古墳は湯山もろともに破壊され、山頂の石室も崩れ落ちてしまいました。堺市博物館(中庭に面した側室)には、現地から採取された一片の石片と、レプリカですが全長 2m の立派な組合式家形石棺が展示されており、被葬者の権威が偲べれます。

しかし、崩された湯山の跡地に、昭和 36 年に建てられた十川ゴム堺工場に、その石室、石棺の破片と思しき古石群が大事に保存されていたのです。観ボラ南地域の会のメンバーと十川ゴム様を訪問し、実物を拝見させて頂きましたが、その大きさと多さに驚かされました。十川ゴム様にとっては、この石組は工場の護り神で、工場建設の際に事故が多発し、工期の遅れが心配された時、残されていたこの石群をお祀りしたところ、事故は収まり無事工期通り完成したとのことで、未だに工場の安全稼働祈願の為に毎月の礼日礼拝が続けられているとのことです。

また、湯山の麓の溜池に挟まれた「陶の里広場」には、湯山古墳を偲ばせる前方後円墳のレプリカが造られています。

消滅してしまった古墳遺跡が、現代にまで神の石として大事に保存されていることに、陶器の里の歴史のロマンを感じますね。

※十川ゴムさまのご許可なしに拝観することは不可ですので、ご注意ください。



《ガイドの豆知識 23》

利休の死

【山田 武彦】

利休は大徳寺の山門におのれの木像を置いたことを直接の理由として、堺の自宅に謹慎を命じられる。利休の書簡によると「天正19年2月13日に富田左近将監知信と柘植左京亮の両使によって追放の旨が告げられ、即日聚楽第の不審庵を出て堺に下向した」その後、同月28日自刃の命を受けて自裁し、その首は京都まで運ばれて問題の寿像とともに聚楽の戻橋で獄門にかけられたものとみたいところではあるが、一般には再び京都に召し寄せられて京都で自刃したように言われている。年70歳。



利休の賜死理由としては前記の木像一件のほか、その娘を側室に所望されたが利休が拒絶した、更に秀吉毒殺未遂事件というのがある。次に利休がキリシタンで改宗しなかったため、その次に秀吉の朝鮮出兵に利休が反対したからだという説、また秀吉と利休の思想的対立が相剋へと進みそれが原因だと言う説等等きりが無い。

不思議なことに津田宗及、今井宗久、同宗薫、松屋久政、同久好、同久重ら、利休の同僚茶人たちが黙して何一つ語らない。現存する茶書の中に利休自刃の事実を記録するものが、まったく存在しない。誠に不思議のかぎりというほかない。

私は、利休が秀吉は天下統一の直後、すなわち天正18年(1590)の7月に制度化した「身分法令」に抵触したものであると思う。この「身分法令」というのは、天下の平和と統一のために、農民は耕作を主とし、町人は商売を主とすべきで、その身分を逸脱するような行動をしてはならぬという法律であった。これは徳川三代将軍家光のころだとされているが、それはこの制度の完成期を言うのであることは以前述べている。それはともかく、千利休を処罰しなければならなかったのも、利休の当時の言行の商人らしからぬところ、商人あがりの御茶頭の身分を逸脱したところにあったのではないかと考えられる。

利休の処罰に少しおくれて同じ堺の茶人津田宗及や今井宗久もこの世から消え去っている。このように、利休を中心とする堺の商人あがりの有力茶人が、秀吉の天下平定とほとんど時を同じくして、没落していったのは堺商人だけでなく、町人の自治都市堺の町の没落をも物語っている。戦国乱世的な堺商人のもつ気骨、気概、言動の自由闊達さ、抱負の遠大さが、一斉に禁圧されたのだ。

参考文献

堺の史的幻影	田島 清	広文堂
堺歴史散歩	徳永真一郎	創元社
利休の死	小松茂美	中央公論社
定本千利休	桑田忠親	角川文庫

《知って得する堺の偉人 その9》

堺出身の関取 龍興山一人 (りゅうこうざんかずと)

【佐伯 勇次】

1967年6月23日生 浜寺中学3年の時、周囲の猛反対を受けるが出羽の海部屋の入門を決意、卒業と共に初土俵を踏みました。四股名は南宗寺の山号でもあります。この当時、大阪場所の時には南宗寺が宿舎でした。当初は遅い相撲でしたが、1989年7月場所に十両昇進した頃には早くなり、腰の重さを生かしたがぶり寄りを覚え、その取り口から「琴風二世」と評されました。1990年1月場所で新入幕を果たし、終盤の4連勝で9勝6敗と勝ち越しました。

ところが場所後の2月2日朝稽古後、突然意識を失って倒れ同じ部屋の力士や親方によって救急車で病院に運ばれたものの、手当の甲斐もなく虚血性心不全によって急死してしまいました。享年22歳。本来ならば番付編成会議後に亡くなった力士は翌場所の番付から四股名が消され、その位置は空き番付となるはずでしたが、龍興山の場合は新入幕を果たした場所で勝ち越したことで、翌場所は自己最高位を更新する予定であったため「せめて番付だけでも故郷(3月場所は大阪で行われる)に錦を飾らせたい」という9代出羽の海親方や日本相撲協会の配慮で残されることになり、3月場所の新番付では自己最高位となる東前頭5枚目にその四股名が記載されました。身長185.5cm、体重160kg、将来を嘱望されましたが余りにも若い死でした。



関取 龍興山一人

《My 堺観光スポット series 4》

「日置荘」地域と「萩原天神」

【辻 定子】

「日置荘」地域には、約1700年前から人々が住み始めたと言われていています。海岸線や大きな川からも遠く、縄文時代や弥生時代の人々が住むには、あまり適していなかった事でしょう。農耕技術や鍛冶技術が改良され、人々は桃源郷を求めて、「原寺町」辺りに村をつくり、稲作をして暮らし始めたようです。農業をするには、池を造り、「日の神」をお祀りしました。神様を祀る仕事を受け持つ人々を「日置部」と言われました。萩原神社は、北緯34度32分の「黄金の太陽ベルト地帯」に位置しています。僧行基さんはここに神社の神宮寺として「萩原寺」を建てました。日置氏も僧行基さんに帰依し、代々信仰されてきたようです。西町の地域会館前に日置家の19代により建てられた大きな「常夜燈」が残っています。



西町地域会館前の常夜灯

1200年位前(平安時代)、奈良の興福寺によって、丈六・高松・田中・原寺から北村・西村・狭山・黒山の方まで新田開発され「日置荘」と名付けられました。日置氏は、大和出身で「奈良興福寺」の荘園を治めました。明治時代になり神仏分離令により、萩原神社と六つの寺に分かれ、近隣の村々に移りました。「萩原寺」の6つの内2つ「真光寺」と「妙覚寺」が原寺村にあり、昔の中心地であったことが偲ばれます。現在、「日置荘地域」は日置荘原寺町・日置荘西町・日置荘北町・日置荘田中町の4つで、昔の8か所の「日置荘」地域とは範囲が狭くなっています。「八下町」の昔話には8か所参りとしてむかしの地域が受けつがれています。

第5回「堺事件－平和を築くための国際理解講座」に参加して

【森継 正彦】

2月23日に妙國寺において「堺事件を語り継ぐ会」主催にて開催された講座に参加したので概要を報告します。

1階の客殿にて講演と紙芝居。講演は、今までにない切り口で「フランス側から見た堺事件」、講師は在東京のクリスチャン・ポラック先生、Zoomでの「リモート講演」で、土佐の宇賀四郎会長もZoomでのご参加となりました。

講師のポラック先生は滞在歴40年で日本語も御堪能、日本・フランスの歴史学者で、一橋大学、明治大学客員教授を歴任、専門は幕末の日仏交流史とのこと。また実業家で、在日フランス商工会議所副会頭でもあり、フランスの最高位勲章であるレジオンドヌール勲章を始め、数々の勲章を受章されています。ポラック先生からは、江戸時代末期に日本が世界に向けて開国して以降の日仏関係が生糸交易等を通じて大変友好的であったということを数々の資料でご説明いただきました。

さて、本題の「堺事件」、先生は当時のフランス側資料（報告書や日記）を「フランス古文書資料館」等から丹念に調べ上げ、雑誌「鷗外」（第29号昭和56年7月）で「堺事件－フランス側資料」で発表され、これら資料は大岡昇平氏にも提供されたとのこと。

ポラック先生の示された「堺事件」の見解は、我々が一般に知りえている見解と隔たりがあり、引き続き地道な調査研究が益々必要であると感じた講演でした



堺 WI グランプリ開催！

【北野 しどり】



コロナ禍の影響で休んでいた堺 WI グランプリの第4回が利晶の杜で開かれました。エントリーした和菓子12種類が陳列され、店舗の紹介もありました。感染予防のため館内での飲食はできませんが和菓子を購入された方にスマホやタブレットからお気に入りを投票してもらい、キッズ賞、プリティー賞、かがやくネーミング賞、堺ストーリー賞のどの賞がふさわしいかも選んでもらい賞が決まるそうです。たくさんの方が楽しそうに和菓子を選んで持ち帰られていました。外では親子

で来られたお客様にお茶の苗木がプレゼントされていました。また茶筌ふり体験は、お茶の先生や大学の茶道部の方に茶筌の振り方の指導を受けて、自分で抹茶を点てて飲むという体験で、初めてという子どもやカップルが一生懸命茶筌を振って、点てたお茶を飲まれていました。難しい、苦いと言いながらもとても楽しそうでした。堺を案内していてお客様に「堺の和菓子は美味しいですね」と言われることがあります。本当に堺はお茶と和菓子の魅力がいっぱいあるところですよ。それが来られた方に伝わったように思いました。



「撮るさかい、見てある記」(JA 月間情報誌「CROP」) こぼれ話 (その 23) 【樽野 美千代】

堺の地名 (南区編) 2 (2019年11月号掲載)

鎌倉時代以来の古い歴史をもつ南区の旧村では、和田・釜室・富蔵・大森・泉田中・畑などへ取材に行きました。角川版の地名辞典によれば、大森は、江戸時代後半下総(しもうさ=千葉県北部)国の関宿(せきやど)藩久世氏がおさめていて、和田谷(みぎただに)6ヶ村(上別所・下別所・上・檜尾・大森・野々井)のひとつ。明治22年美木多村の大字となり、昭和31年には福泉町になっています。和田=みきた では読みにくいので、字を変えたようです。富蔵は、14世紀には見える地名で、江戸時代には太平寺・大庭寺などと大庭寺(のちに伯太)藩となり、上神谷(にわだに)の妙見さんとして有名な日蓮宗感応寺があります。

旧村の地名に多い「蔵」「室」は、百舌鳥古墳群が作られる5世紀中頃から、現在の泉北ニュータウン一帯に、朝鮮半島から須恵器(硬い素焼きの灰色の土器)を焼く技術を持つ人たちが住みつき、須恵器を焼く窯や保存用の倉庫がつくられたことによるとのことです。

鎌倉時代～戦国時代、若松荘(わかまつのしょう)という皇族のもつ荘園があり、京都の臨川寺に寄進されました。若松荘は、現在の太平寺・大庭寺・豊田・梅・若松台・片蔵・泉田中・富蔵・釜室・逆瀬川・畑・鉢ヶ峰付近です。



上神谷米が実る 富蔵の田んぼの風景
遠くに金剛・葛城の山々

櫻井神社は、別宮八幡と呼ばれ、若松荘中村(波線の村々の総称)の鎮守で、江戸時代には、小代・野々井・三木閉・和田・大森・上・別所・檜尾も加わりました。「中村結鎮(けっちん)御頭次第(おとうしだい)」という「南北朝時代の正平6年(1351)から江戸時代の元禄12年(1699)までの記録で、中世から近世までの中村結鎮座の変遷を示す根本資料(堺市ホームページより)」が残っています。これは、宮座(村の鎮守祭の構成メンバー)の頭役(行事の世話役)の記録です。何年か前、堺市博物館で展示され、年号と人名が書かれている14～17世紀の文書(の一部)が読めるので、感激しました。

春爛漫！大仙公園の桜

桜の主役のソメイヨシノが3月末に満開になっています。そして、そのあとは櫻街道でヤエベニシダレがピークを迎えます。一番の見頃は是非、お立ち寄りください。



☆ 2022(令和4)年4月度 月間予定表

日	曜	行 事	時間	場 所
1	金	イベント工房と呈茶チーム 2021年度決算棚卸	13:00	山之ロプラザ
2	土			
3	日	J A「CROP」西区 下田町取材	8:30	堺東バス乗り場集合
4	月	年次リーダー会	10:00	堺市総合福祉会館第2会議室
		運営委員会	14:00	堺市総合福祉会館大研修室
5	火	「陶器の里」モニターガイドウォーク	9:30	泉ヶ丘駅 泉ヶ丘広場
		30期仁徳天皇陵一周ミニツアー研修	10:00	百舌鳥古墳群
		30期大仙公園内古墳めぐりミニツアー研修	13:00	ビジターセンター前集合
6	水	定点ガイド部Aグループ会議	9:30	堺市総合福祉会館 MR
		定点ガイド部Bグループ会議	13:30	堺市総合福祉会館
7	木	利休生誕500年PJ会議	10:00	日本庭園・休憩舎
8	金	30期仁徳天皇陵一周ミニツアー研修	10:00	百舌鳥古墳群
		30期大仙公園内古墳めぐりミニツアー研修	13:00	ビジターセンター前集合
9	土			
10	日	自転車ツアー(西高野街道～多治速比売神社)	9:30	百舌鳥古墳群ビジターセンター前集合
		J A「CROP」編集会議	10:00	堺東
		J A「CROP」堺区神社取材(特集号)	午後	
11	月	30期仁徳天皇陵一周ミニツアー研修	10:00	百舌鳥古墳群
		30期大仙公園内古墳めぐりミニツアー研修	13:00	ビジターセンター前集合
12	火	企画部会議(見学可)	14:00	堺市総合福祉会館
		研修部会議(見学可)	14:00	堺市総合福祉会館
13	水			
14	木	ツアーガイド部会議(見学可)	13:30	堺市総合福祉会館
		事業部会議(見学可)	14:00	堺市総合福祉会館
15	金	部長会	9:30	堺市総合福祉会館第4会議室
		定点ガイド部全体会議(見学可)	13:30	東洋ビル1階
		協会ニュース2022年5月号原稿締切り		
16	土	広報部会議(見学可)	10:00	堺市総合福祉会館
17	日			
18	月	活動予定表締め切り		
19	火	「陶器の里」モニターガイドウォーク	9:30	泉ヶ丘駅 泉ヶ丘広場
		堺観光情報連絡会	10:30	市役所高層館2階
20	水			
21	木			
22	金			
23	土			
24	日			
25	月	協会ニュース2022年5月号発送作業	9:00	堺市総合福祉会館
26	火	総務部会(見学可)	10:00	堺市総合福祉会館 MR
27	水			
28	木			
29	金	昭和の日 堺市総合福祉会館休館		電話は担当者に転送
30	土			
【予告】 5月18日(水)人権を含むマナー研修(19~21期)14時堺市総合福祉会館5階大研修室				

新型コロナウイルスの感染拡大状況により
変更になる可能性があります。ご留意ください。

広報部からのお願い

広報部では観ボラ協会員の皆様の投稿をお願いしております。
協会ニュースをよりいっそう皆様のものにする為、皆様の堺への思い・協会への思い・協会活動・ご自身のこと・ウチク等、なんでも結構です。又、利休生誕500年に関連して、「私と千利休」的なものも歓迎します。現在、好評連載中の『知って得する堺の偉人』『My 堺観光スポット』にもあなたのイチオシを！

我と思われる方は、広報部員までご相談をお寄せください。

編集後記

3月19日(土)遅めの朝食を摂りながら、選抜高校野球大会開会式のテレビ中継を見ていました。3年前までは「春はセンバツから」と言われるように、未だ少し寒さが残る春の陽射しの中を、誇らしげに行進する高校球児を見て元気を貰っていました。でも今回は少しさびしい開会式でした。

コロナ禍のここ2年はスポーツ、エンタテイメント、旅行等々色々なものが中止、延期、縮小等になってしまいました。私たちも目に見えないものに脅え、気の抜けない2年間でした。でも、3月21日かぎりをもって「まん延防止等重点措置に基づく要請」が解除され、第6波の感染者数も減少しているようです。(少し心配)

どうか、このまま終息に向かってほしいです。暖かい陽射しを浴びて桜の木の下皆でお弁当。想像ただけで楽しくなりませんか。

これからも感染防止対策をしっかりと、失われた2年間を取り戻そう！！

【金銅 京子】